

# 株式会社いさみや洋装

事業内容：アパレルから医療、介護、スポーツ分野の製品、自動車や新幹線のシートなど幅広く製造を行う。

創業：95年



代表取締役 小澤 徳さん

## ■長寿の秘訣や大切にされている考えなどをお聞かせください。

お客様に信頼していただくために、「とにかく良いものを作ろう」という姿勢を貫き、創業当時から変わらないミッションとして、「ごまかさず、丁寧なものづくり」を掲げてきました。

妥協したり、ごまかしたりはせずに、丁寧にものづくりしましょう。自分たちがものづくりに誇りを持っていきましょう。そういった仕事に対する向き合い方をし続けてきたおかげで、新しいお客様からお仕事をいただけるようになり、長くお取引いただいているのかなと思っています。

そのため、商品品質や不良率の低さには自信をもっております。

先代からも「とにかくごまかしたりするな」と言われ続けていました。「お取引先から信頼を失ったらもう取り戻すことはできない。それを失わないために丁寧にしなさい」と、創業当時から変わらないミッションとして持ち続けています。

## ■社長に就任された時、どのようなお気持ちでしたか。

元々大企業に勤めていた際は、何もしなくても社内や業界から多種多様な情報が入ってきましたが、今の会社に入社して感じたのは、情報が何も入ってこないということでした。皆が同じ方向を向いているため同じ情報しか入ってこない。そんな中で社長に就任するという形だったので、自分の舵取りで会社がどうなっ

てしまうのかと非常に不安が大きかったです。

また、今までは右肩上がりの業績でしたが、業界的に斜陽になりかけていた時期で、このままではいけないと危機感を覚えました。

その時、東京青年会議所北区委員会からお誘いを受け、異業種交流であったり、新しいお話を聞く機会に恵まれました。またそれに合わせて、東京商工会議所北支部の会合にも出させていただいたことで、様々な先輩方にも出会うことが出来ました。その中で、元気の良い会社はこう動いているんだという発想の違いに気付くこともでき、大きく視野を広げることができました。

## ■御社のイノベーション事例についてお話を伺ってもよろしいでしょうか。

自社開発として遠赤外線ヒーターを活用した肩を温める商品を息子である専務が開発し、ふるさと納税の対象品としての展開や、クラウドファンディングの実施などで、商品の認知度拡大に努めています。

そこでの取り組みは、単なる自社商品の開発に留まらず、経営基盤の安定を図るため、自社で決められる領域を増やしたいという考えがあります。

「ものづくり企業だからこそ出来ることは何か」を考え、商品の値段だけを見れば価格は高いが、例えば10年間の保証を付けるといったことで、安心感も一緒に買っていただける。これは、自分たちで作っているからこそできることなのではないかと思っており、充実させていきたいです。



肩を温める新商品を付ける専務取締役 小澤 直之さん